1　国語

学校番号	3006

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ａ	単位数	２	年次	工学系３年
使用教科書	新編現代文Ａ（第一学習社）						
副教材等	クリアカラー国語便覧　第四版（数研出版）、入試漢字２５００（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ

・３年生では大学進学などに必要となる総合的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・大学進学に必要な知識を身につけましょう。
・意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けましょう。
・予習、復習を欠かさないようにしてください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

３学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	自分について語る	【近代以降】 〈自己紹介をしあって、話し方聞き方を学ぶ〉 教材: ワークシート	◎				○	a:何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。 e:話すこと・聞くことに必要な文の組立てについて理解している。	a、e: 行動の観察と確認
	随筆の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材: 「新しい地球観」	○			◎	○	a:作者の心情に触れ、文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	朗読	【近代以降】 〈朗読することで日本語の音のすばらしさを学ぶ〉 教材:「朗読して味わう」 ワークシート	◎				○	a:音読する内容について幅広く資料などに当たって調べようとしている。 e:読むこと・聞くことに必要な文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、e: 行動の観察と確認
	小説の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材: 「調律師のるみ子さん」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
2学期	文章を書く	【近代以降】 〈作文、小論文を書くことを学ぶ〉 教材: ワークシート、 原稿用紙	○				◎	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、e: 記述の点検と確認及び分析

	評論の内容を理解するⅡ	【近代以降】 教材: 「ワスレナグサ」	○			◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e:言語が個人や社会の中で果たしている役割について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	小説の内容を理解するⅡ	【近代以降】 教材: 「こころ」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
3学期	小説の内容を理解するⅢ	【近代以降】 教材: 「ナイン」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認と分析及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。